

発行日 1996年11月15日

# ろくおん通信

## No. 87

発行者 盲人情報文化センター 録音製作係

処理を考える(15)

## わかるように読む その2

前回の例文1は記号の処理も気になります。「宇宙旅行の……」の「……」を「六点リーダー」とか「てんてんてん」といった読み方をされた方はありませんか。この記号の意味は「諸問題」という言葉の省略の意味ですから、記号をそのまま読んだだけでは記号の意味が正確には伝わりません。また、「☆■天文学」を「ホシ、クロシカク天文学」といった読み方をしても、「〇〇天文学」という意味に正確には伝わらないのでしょう。「ホシに関する天文学??」といった混乱も起きそうです。

これは、私たちには記号の使われている意味がわかっている（たとえば、記号の正しい読み方がわからなくても使われている意味はわかります。例 A>B）、記号をそのまま音声化しても、あまり使われていないために、その意味がちゃんと伝わらないからです。視覚世界の情報と音声世界の情報の格差ともいえるでしょう。こうした点を記号を処理する場合は考えておく必要があります。

ここでの例文はフレーズの問題です。句点がやたら多い場合、どこで切るかを十分考えて読まなくてはなりません。たとえば、この例文1を

「……ある言葉では、神様／他の言葉では／時、文化、風習の違いが……」と読むと、文意である、「ある言葉では神様、他の言葉では時、／／文化・風習の違いが……」といった意味にすんなりと通りません。読むときには、「ある言葉では神様／他の言葉では時／／文化、風習の違いが……」といった読み方になるでしょう。例文2は、句点のあるところをそのまま読むと意味がわからなくなります。

「……彼は私の息子だわ……それで、私が、来て、本を全部運び出して、彼の車庫に入れておくよう、ビル・ロビンソンに頼んだの。」の文章を、「……彼は私の

息子だわ……それで、／私が／来て／本を全部運び出して、彼の車庫に入れておくよう、ビル・ロビンソンに頼んだの。」と読むと意味が通じなくなります。ここでは、「私が／来て本を全部運び出して……」 例文3も同じく、切り方の問題です。

「以上が一次救命処置の三段階です。これらを一人で行う場合は、まず、□対□人工呼吸を二回行い、脈の有無を調べ、なければ心マッサージを十五回行い、それ以降、この二つを組み合わせた処置を2回、15回のペースで繰り返します。」で「組み合わせた処置を2回、15回のペース……」と原文通りに読むと、「二つを組み合わせた処置を2回」、「15回のペースで繰り返します」といった意味にとられ、正しく伝わらず混乱します。「2回、15回のペースを繰り返すわけですから、本文は、

「……組み合わせた処置を／／2回／15回のペースで繰り返します。」

前回の問題は主に文章の意味から切るところを考えて読まないという意味が正しく伝わらないことがある例文を取り上げました。記号も漢字も文書の読み方も基本は文章の内容が正しく伝わるように読むことが基本です。

さて、次回の例文です。みんなで考えてください。『ろくおん通信』で取り上げている例文でいろいろな意見が出ることと思いますが、違った意見などがあれば清水まで是非あげてください。みんなで考えていければと思います。

今回の例文です。

### 例文1

#### 花柳章太郎の衣裳

花柳は、衣裳以外に、当然のことながら、絵がうまく、自著の装幀もほとんど自分でしている。私もたびたび貰った手紙は、和紙の見ひらきに、おもに季節の花の絵を大きく描き、そのわきに文章が書いてあったものだ。

昭和三十年に私は中国にゆき、北京で買った剪紙を土産に届けたら、さっそくそれを図案化して型紙を彫り染めて自著の扉に貼った。その小さな紙片は「わたしのたんす」の扉に一枚宛貼られている。また三月書房から出した私の「おととの恋人」の表紙にも、花柳の藤の花の絵を装幀として使わせてもらった。こういう風流のたのしみ方は、うれしそうに自分の部屋でためつすがめつ、工芸を作ってゆく姿を想像させる。

その工芸という中には、染物、陶器、人形製作、ガラス絵、七宝といろいろあって、松屋の展示会でも、自慢の品がならべられていた。

鑄木清方、伊東深水、小村雪岱、木村莊八という、いずれも当代の巨匠たちとも、親

交がふかく、その助言にも助けられたと思う。

画家ばかりでなく、花柳はいろいろなジャンルの文学者にも愛された。喜多村の親友でもあった鏡花をはじめ、永井荷風、谷崎潤一郎、吉井勇、久保田万太郎という人たちが、ブレインであった。

花柳は陽気な人だった。「役者馬鹿」（という本もある）と自認もしていたが、親しい友だちと談笑しながら会食するのが好み、時々自宅に招いては芸談をまじえた四方山話にふけていた。

戦後に長年の念願がかなって、六代目菊五郎と共演を二度したが、有楽座の興行で、その出し物のあいだに若手が「妹背山」の御殿を演じた。その直後、会食の席でその話が出て、この芝居の中に来る俗に「豆腐買」と呼ばれる、おはしたの役の話が出た。

その席に、劇作家の八木隆一郎がいて、「豆腐会ってどういう会ですか」と質問した。以来、花柳のそういう会を「豆腐会」と称したという。

## 例文 2

☆問題は下線部分の切り方

### それぞれの任務へ

お茶屋での座敷では夫婦喧嘩の後遺症も見せず、格別変わったところを見せなかったマリリンだが、翌日からの彼女には、何か一つ吹っ切れたというか、開き直りとも言えるものが見える。

午後から大阪市天王寺区の米陸軍病院を訪れたマリリンは、入院している兵士たちを慰問した。引き続き、ここで朝鮮慰問旅行について、詳しい打ち合わせを関係者で行った。そして、四時から日本に来て初めて舞台に立つのである。

その間、ディマジオはオドウルとともに阪神タイガースの指導にあっていた。雨のため一日延期された実地指導である。場所は言うまでもなく甲子園。午前十一時には阪神タイガース、ジャガーズ（阪神新人軍）がグラウンドに集まっていた。

この日は雨こそ上がったが、肌寒く、グラウンドも水気を含んでコンディションはあまりよくなかった。しかし、“打倒巨人”の意気高らかなタイガースとジャガーズは元気いっぱい、日頃の鍛錬のほどをコーチ団の前に潑刺と繰り広げた。

約二千の熱心なファンがスタンドに詰めかけていた。その歓声に迎えられて入場したディマジオ、オドウル、ブラウンの三人は、まずは各社カメラマンの注文に応じてポーズをとったが、そのときオドウルが目にしたのが一塁側打撃練習用のサンドバッグ。オドウル氏が珍しそうに自らバットを握って数回バッグを叩く。グリップを強くするための練習なのだが、「これをあまりやり過ぎると、グリップを固くしてしまうのではない

か」と注意する。次に彼は右翼ラッキーゾーンのブルペンへ行き、御園生コーチ、梶岡、藤村弟、真田以下の投手陣にコーチを始める。ディマジオはホームベース付近で打撃、ブラウン氏は二塁ベース付近で内野陣と三班に分かれてのコーチが始まった。

阪神選手の熱心なプレイに心打たれたオドウルは、「このチームは松木監督が実によくしつけている」とほめ、ディマジオも「今年の春、アメリカで読売巨人軍をよく見たが、タイガースのバッティングは巨人軍に少しも劣らない」と激賞。ブラウン氏も実演にいいよ熱を加えて、ゴロの捕球法、併殺プレイ、スライディングに対するタッチの仕方など、細かいところまで指導し、「もうこれ以上教えることはない」と悲鳴を上げた。

コーチは予定を三十分超え、午後一時半まで続いた。

### 例文3

#### 最新日本語読本

秋田実は、彼が小学生だったとき、つまり大正改元のころ、当時のお客の、舞台を批判する言葉は、「よう、やりよる」、そして、「値打ちがある」、そのふたつであった、と伝えている。一般に、これ値打ち物や、というとき、意味を二通りに分け得る。鞆を買った時なら、廉価い、の意、素うどんを食った時なら、腹ごたえがする、の意、藝人に対しては、後者である。大阪の笑藝人は、お客さんにお土産を持って帰って貰いま(す)と言う。高座と雖も、その場かぎりではないのである。

この、ツッコミに潜む優しさの根元には、大阪に独特な、シャレ言葉、の伝統がある。牧村史陽(昭和54年『大阪ことば辞典』)は「大阪人は古来シャレ好きである」と認め、それにつけても、「シャレで笑い合えるようなゆとりのある世」が来て欲しいと願っているが、私の印象では、少なからぬシャレ言葉が、単に笑い合うためではなく、対人関係の効果的な潤滑油として作用していた。

赤児のしょんべん→ややこしい(赤児小便)、牛の尻→物識り(モーの尻)、うどん屋の釜→言うだけ(湯うだけ)、傘に天狗風→調子に乗っとる(舞い上がっとる)、清正の雪隠入り→遣りっ放し(槍離し)、五合徳利→一生つまらん(一升詰まらん)、猿の病気→聞きづらい(キキ辛い)、雪駄の土用干し→意気揚々(反り返っとる)、樽屋の前垂→忘れとる(輪ア摺れとる)、手水鉢の金魚→癩(杓)にさわる、鯰の子ォ→口ばかり、はやらぬ問屋→似つかぬ(荷ィ着かぬ)、紐のない眼鏡→鼻にかけている、

深草の名物→内輪（団扇）ばかり、坊主の鉢巻→耳学問（耳でもってる、私は世の”共同研究”をこう呼んでいる）、無地の羽織→一文（紋）無し、安物の味醂→ちと甘い、大和の吊し柿→下手（蒂）なりに固まってる。それにつけくわえるなら、夜明けの小便→余裕がない（筒一杯）、肥屋に屁→さっぱりこたえん、何を言っても頼りない。

昭和五十五年二月二日、TBS「クイズダービー」に「牛のおいど」が出たとき、さすがの明敏のはらたいらも、苦吟のまま時間切れとなった。出しゃばって物識りぶる奴を、一応は爪弾きしながらも、野暮に言い募って叩かないで、なんやアイツ牛のおいどや、物識り愚者を一言でイナス、その呼吸がツッコミの真髓である。シャレ言葉はたしかに罵りであるが、アホかと陽気に笑い飛ばす。じめじめしない<sup>ツ</sup>勤さと明るさ、平衡感覚に発する人間性論である。角突き合いになるところを、言葉合戦を通じておさめる。このシャレ言葉の豊富な伝統が、ツッコミの話藝を支えているのである。

二通りの読みがあって意味が異なるもの（46）

初子	ハツゴ	初めて産まれた子	丁丁	チヨチヨ	物を続けて打つ音
	ハツネ	正月最初の子の日		トウト	斧で木を伐る音。碁を打つ音。又は琴の音。
立方	タカタ	立ち上がり方。身の処し方。	相對	アイタイ	当事者同士が直接に会って事を行うこと。対等であること。
	リッポウ	三乗。		ソウタイ	相互関係を有すること。
多聞	タブン	多く物事を聞き知っていること。	大兄	タイケイ	男同士で同輩が年上の人に対する敬称。賢兄。
	タヘン	城の石垣上の長屋。		オオニ	第一の兄。長兄。

## 二通りの読みかあって意味が異なるもの (46)

### 「2人(二人)を含む語の読み」

#### ☆ニニン

(1)一般語 二人三脚。二人称。二人乗り  
二人引き(人力車)。二人張り(弓)  
二人前。同行二人。

(2)題名など 二人女(小説) 二人景清  
(歌舞伎) 二人羽織(落語)

#### ☆フタリ

(1)二人掛かり。 二人掛け。 二人口。  
二人連れ。二人船頭(時代語)

(2)二人兄弟。二人座頭。二人静。  
二人大名。二人袴。二人御子。

#### ☆フタリ、ニニン両方の読み

二人組。二人漕ぎ。二人乗り。二人分。

### 「白衣」

☆ハクイ ~天使。

☆ハクエ ~の装束。

☆ビヤクイ ~の行者。

☆ビヤクエ ~観音。

### 「博士」

☆ハクシ 正式な学位の称号として使う  
場合。

☆ハカセ 文章~(モンジョウハカセ)  
物知りハカセ。お天気ハカセ。

### 「判官」

☆ホーガン 九郎ホーガン。~びいき。

☆ハンガン 一般。

## きれいに録音する為に 第24回

### 環境音を減らす

環境音とは、音訳者自身が原因で発生させる雑音ではなく、また、機械的(電氣的)な理由で発生する雑音とは違うものを指します。たとえば、自動車の音とか、飛行機の音、時計、犬の鳴き声、人の話し声、電話の音など日常生活にあふれている音(生活音といった言い方もします)や部屋の構造によって起きる反響音、ちょうど風呂場で声を出すとよく響きますが、あれが反響音です。この反響音は、音をよく反射する部屋、特に洋間のような堅い壁や床のあるような部屋は目立ちます。また、反響音とは違って、共鳴音もあります。共鳴し易い物がマイクの周りがあると、「ビーン、ビーン」と声が響いて録音されます。マイク立てに筒状のものを使ったり、ライトの傘がお碗型だったりすると起こるこ

とがあります。また、録音機の配置の仕方でも、注意しないといろいろと雑音が発生します。マイクと録音機を同一テーブル上に置くと、モーターの回転音や、操作音などの振動が伝わって録音されてしまいます。こうした振動音をなくすには、マイクと録音機は同一の机にはセットしないようにしなくてはなりません。また、マイクスタンドの下には必ず柔らかいものを敷いて机から振動音を防ぐようにします。また、机の上には柔らかい物を敷くようにしましょう。これは、むき出しのままでは、よく机に当たって雑音が発生させるからです。

生活音を減らすには、音のでる場所での録音を極力避けられればいいのですがなかなかそうはいかないでしょう。窓があれば録音中は必ず閉めましょう。以前、録音図書で、かなり大きな電話の音そのまま録音されていたものがありました。そうしたテープが録音図書として出ているのは残念です。残音が入ったと思ったらすぐ止め、その前からやり直すようにしましょう。反響音を減らすには反響するものをできるだけなくす必要があります。壁がむき出しの部屋、特に洋間などではよく音が響きますので、音を吸収させる為にカーテンがあればカーテンを閉めます。録音する周りにできるだけ柔らかいもの（座布団などでもよい）を置くなどして反響音を減らすようにしましょう。反響音は反響している部屋でいくら聞いてもテープの音が反響しているのか、テープから出ている音が部屋に反響しているのかわかりませんので、反響しない部屋で聞くか、ヘッドホンなどで聞くとよくわかります。この反響音を減らすには、他にも方法があります。反響音は反射してくる音ですから、これをできるだけ録音しないようにすればいいわけです。ボリュームつまみの位置が「2時」で録音している時と「5時」で録音している時とでは、反響音の大きさはかなり違ってきます。しかし、単にボリュームだけを絞ると録音する声も小さくなってしまいますので、それを防ぐには、マイクと口までの距離を調整します。スタジオでの録音は外部の音が遮断されていますので、40センチくらいの距離で読んでも問題はほとんど起きませんが、家庭の場合、40センチも離して読むと、ボリュームのつまみは最大（ボリュームのつまみは5時）で録音することになるでしょう。そうすると反響音もまわりの生活音も大きく録音されてしまうこととなります。家庭で録音する場合は、マイクとの距離は20センチくらいだと勧めています。これは、音量は距離の二乗に反比例しますので、マイクとの距離が半分になると音量は4倍になり、つまりその分だけマイクボリュームを絞ることができるからです。マイクボリュームを絞ることができれば外部の生活音や反響している音も小さくなって聞き易くなります。しかし、マイクとの距離は近ければ近いほどよいというものではありません。近づけることで、口の中の音が録音されたり、息を吸う音が入ったり、声が波打ったりといった問題が発生することがあります。自分に一番適した距離を発見しなくてはなりません。

## 利用者から制作依頼を受けている原本

### 書名 <分類>

- 『蒼穹の昴』 上・下 <小説>
- 『中国の歴史と故事』 <歴史>
- 『きょうを生きる言葉』 <宗教>
- 『ヨセフとその兄弟 Ⅰ』 <宗教>
- 『ヨセフとその兄弟 Ⅱ』 <宗教>
- 『ヨセフとその兄弟 Ⅲ』 <宗教>
- 『奪取』 <小説>
- 『幼児のピアノはスタートが勝負』 <音楽>

以上のリストは、読者から音声訳の依頼を受けている本です。引き受けて頂ける方がありましたらご連絡ください。

書名	グループ
『算命学中国占星術』 2～5巻	えくてもあ
『単独捜査』 <小説>	〃
『母と子の初めての音楽体験』 <音楽>	〃
『愛、無限』 <宗教>	〃
『幸福瞑想法』 <宗教>	〃
『シンザン物語』	テーブルブラリーにしのみや
『銃、ときどき音楽』	〃
『全盲先生海外ひとり旅』	ICCBリクエスト製作グループ
『無から有を生み出す神』 <宗教>	〃
『ウサギ・ムスター・リスたちの医・食・住』	〃
『バースへの帰還』 <小説>	〃

### 今回引き受けて頂いた原本とグループ